



市議会だより



平成十八年 第四回 三豊市議会定例会

平成18年第4回三豊市議会定例会は、12月5日から22日までの18日間の日程で開かれました。

今定例会においては、三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例など26件と、継続審査となっていた平成17年度一般会計及び各特別会計決算認定など31件と、意見書2件を可決・認定し、人事案件2件の人権擁護委員を推薦同意しました。



旧松下寿電子工業(株)跡地

初日には、三豊市一般会計補正予算2億6,438万4千円の増額補正予算案など、24議案の提案理由について説明があり、続いて提案議案について議員が質疑を行い、各常任委員会へ付託しました。

8日・11日・12日の3日間にわたり17名の議員が一般質問を行いました。

各議案の細部にわたる審査は付託された各常任委員会で、14日に総務、15日に建設経済、18日に教育民生の所管事項について行われました。

22日の最終日には、所管の委員会に付託していた審議結果について、各委員長から全議案原案承認の報告があり、25議案を委員長報告どおり可決しました。

「三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」については質疑・討論が行われ、「閉会中の継続審査」とする動議が提案されましたが、賛成少数で否決されました。条例案については、記名投票の結果、賛成24、反対6の賛成多数で、地方自治法第4条に定める3分の2以上を上回っており可決されました。

意見書「公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」及び「森林・林業・木材関連産業政策の充実と国有林野事業の再構築に関する意見書」を全会一致で可決しました。

議案272号・273号人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。

（人権擁護委員）
貞廣浩征氏（高瀬町上高瀬）
眞鍋欣之氏（三野町大見）

議会日誌

18日	17日	16日	15日	11日	12-10日	9日	5日	1月	27日	12月
行財政改革調査特別委員会	まちづくり調査特別委員会	三観衛生組合議会臨時会	議会広報委員会	防災対策調査特別委員会	視察研修 まちづくり調査特別委員会	議会広報委員会	全員協議会		三豊総合病院組合議会	

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒769-1593 三豊市豊中町本山甲201-1 62-1135

平成18年第4回三豊市議会定例会 審議結果

議案番号	案 件	付託委員会	議決の結果
議案第187号 、 議案第216号	平成17年度旧7町・三豊市一般会計、各特別会計及び各事業会計等歳入歳出決算認定について	決 算 特 別	原案認定(全会一致)
議案第223号	三豊市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	教 育 民 生	修正可決(全会一致)
議案第246号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第247号	三豊市健康増進計画策定委員会設置条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第248号	三豊市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第249号	三豊市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第250号	三豊市特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総 務	原案可決(全会一致)
議案第251号	三豊市農村公園条例の一部を改正する条例	建 設 経 済	原案可決(全会一致)
議案第252号	平成18年度三豊市一般会計補正予算(第4号)	総務・建設経済・ 教育民生 (関係部分)	原案可決(全会一致)
議案第253号	平成18年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第254号	平成18年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第255号	平成18年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第256号	平成18年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第257号	工事請負契約の締結について	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第258号	香川県後期高齢者医療広域連合の設立について	教 育 民 生	原案可決(賛成多数)
議案第259号	香川県中部広域競艇事業組合理約の一部変更について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第260号	香川県三豊市観音寺市学校組合理約の一部変更について	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第261号	香川縣市町総合事務組合理約の一部変更について	総 務	原案可決(全会一致)
議案第262号 、 議案第269号	香川縣市町総合事務組合理約の一部変更について (辻・河内・財田大野・神田・大見・下高瀬・桑山・比地大財産区)	総 務	原案認定(全会一致)
議案第270号	工事請負契約の締結について	教 育 民 生	原案可決(全会一致)
議案第271号	三豊市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例		原案可決(賛成多数)
議案第272号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案同意(全会一致)
議案第273号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案同意(全会一致)
意見書案第3号	公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書(案)		原案可決(全会一致)
意見書案第4号	森林・林業・木材関連産業政策の充実と国有林野事業の再構築に関する意見書(案)		原案可決(全会一致)

議決年月日 議案第187号～第223号(平成18年12月5日) 議案第246号～第273号・意見書(12月22日)

市政に対する一般質問

12月定例会の一般質問は、12月8・11・12日の3日間行われ、市政全般にわたる諸問題について17人の議員が質問しました。

市内各公共施設の耐震計画について

横山 強 議員

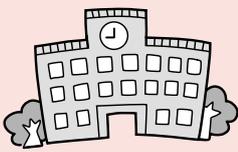
質問 19年度の予算編成にあたり、各学校施設の改修及び補強事業計画が盛り込まれているか。

答弁 14の小中学校、2つの中学校に耐震補強が必要。改築は下高瀬小・比地小・三野津中・詫間中の4校で、そのうち下高瀬小は平成19年度竣工予定である。

質問 耐震構造基準を満たさない市施設は何力所あるのかまた、それらの施設について今後の対応を伺う。

答弁 避難所の指定については、合併以前に95力所が指定。現在は、指定避難所の内、機能的かつ迅速に利用可能な施設は73力所。耐震構造基準については、全施設の耐震診断をしていない

が、今後の対応として、平成19年度に市全体の施設の見直しを検討したい。



永康病院の存在意義と改革について

近藤 久志 議員

質問 市立病院として、事業者管理者制度または指定管理者制度により、公設民営化も含め中期経営計画、病院機能と地域特性を活かした病院改革プランを19年度中に策定し、運営の健全化に取り組む考えは。

答弁 住民の皆さんに必要とされる病院として、市立病院といえども公営企業、事業の効率化を図り健全な運営に一層取り組みます。

19年度は専門家や利用者を含め検討委員会を設置し、市民の生命に関わる地域福祉の最も重要な医療に関する事、幅広い観点から研究、提言をいただき、本市における病院のあり方も総合的に検討します。

質問 管内河川の不良排水の実態調査を。

答弁 市内の水質保全を各課と連携し監督指導します。

平成19年度予算編成方針等について

川崎 秀男 議員

質問 平成18年度の行政執行状況について

- 一、自主財源確保
- 二、地域営農集団
- 三、乳幼児の健診
- 四、コミュニケーションパス
- 五、教育行政
- 六、平成18年度一般会計予算の執行
- 七、本庁方式と職員能力
- 八、大三豊市構想
- 九、不登校問題といじめ問題

質問 平成19年度予算編成方針のもと、行政改革推進のため6項目、3つの指針を踏まえ、予算規模250億の課題にどう取り組むのか。

答弁 時代の変化に対応した新しい三豊市の創造を目指して、財政構造の再構築、すなわち持続可能な財政基盤の確立を図るため、全職員の英知を結集し、課題を克服し、次なる夢への挑戦を行う。

寿工芸跡地利用について

十鳥 彰 議員

質問 合併協議会で決定した市役所建設用地を、早急に商用地に変更する理由は。

答弁 先の市長選で、市民は合併には同意したが、市役所建設は必要なしとの意思表示された。この土地利用については、市全体を見通して考えるべきで、市民に負担がないなら、執行部と議会で考えるべきだとの声が多くあったためである。

質問 市民の声を聞き説明する機会を、今後も作る必要があると思うが。

答弁 市民の皆さんへの説明責任は、最大限対応する。

質問 本市庁舎も豊中区区外との声も聞かぬが、豊中地区に置くことに変更はないか。

答弁 本市庁舎は、豊中町本山甲二〇一番地一とするも、高瀬支所も行革という大きなテーマから、検討する価値はあると思う。

三豊市が目指す
ごみ行政とは

小林 照武 議員

質問 三観広域で計画中の処理方式が、ガス化溶融炉とした場合、諸々の条件整備をも含めた建設コストは200億円との噂もある。三豊市が自分の負担をした場合、耐え難い事態となる。民設民営のPFI方式なり、新しいごみ行政へ向けての考え方を問う。

答弁 ごみ処理への取り組み姿勢は、ごみの資源化を最大化し、一方では、焼却ごみを最小化する姿勢で臨みたい。今一つは、地域資源のバイオマスエネルギーの活用推進を目指したい。

質問 PFI方式も一つの手段だが、膨大な予算を必要とするご指摘の新クリーンセンターについても、三観広域議会や観音寺市、三豊市議会との協議で結論を出したい。

答弁 PFI方式とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間活用すること。

宗吉瓦窯跡について

藤田 公正 議員

質問 瓦窯跡整備の見直し縮小を考えているようだが、今後施設の運営はどのように行う考えか。

答弁 歴史的にも貴重なものであり、施設は歴史学習の場として、小中学校や幼児にも利用できる施設とすると共に、市民の協力を得ながら市民にも活用していただける施設にしたい。

質問 限られた文化遺産を後世に伝えていくのは、今の私たちに課せられた責務。知識人を交えた学習会を開催するなど、市民によるボランティア活動やNPO法人の活用は、市民の文化意識の向上にもつながる。観光資源としても取り組んでほしい。

答弁 規模は縮小するが、学術的な価値もあり、ソフトの面で市民に価値を感じていただき、親しみのあるものにしてほしい。特に地元の方にはいろいろな形で協力をいただきたい。

新クリーンセンターについて

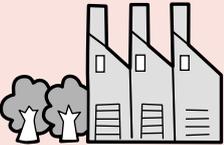
山本 明 議員

質問 11月27日の三観広域議会で、クリーンセンター建設問題が議題になり、粟井奥谷地区に対する補償金額が白川管理者から報告されたと聞きましたが、その額はいくらか。

答弁 議会の非公開なる全員協議会の中での報告だから、発言は控えたい。

質問 建設費の負担割合は、組合規約により、2市の「人口割り」になる。「奥谷地区」に加え、今後予想される山本町河内「長野地区」に対する地元対策費を含めた建設費には、膨大な予算を必要とする。

答弁 三豊市の厳しい財政事情を考えると、市民皆様のご理解をいただくことが重要であり、議会の皆様とも協議しながら、市としての対応を慎重に見極めていきたい。



女性議会の開催について

為広 員史 議員

質問 11月15日に県議会において、「かがわ輝く女性議会」が開催され、防災や少子化、教育等県が抱える諸課題について、女性の視点で鋭い意見や要望が出されたとあります。当市においても、女性議会を開催していただきたい。

答弁 三豊市男女共同参画推進プランの策定時に、市民への啓発活動も含め前向きに検討します。

旧町間における職員給与の格差について
質問 旧7町間での給与査定の違いにより、職員間で給与の格差ができています。同年齢で職歴に大差がないのに給与が大きく違う現状は、早急に改善すべきです。

答弁 合併した県内の市町の例を参考に、県当局の指導もいただきながら、職員団体とも協議のうえ調整を図っていきます。

市長の政治姿勢について

多田 治 議員

質問 秋以降、地方行政への信頼に疑問を抱かれかねないような不祥事が次々と摘発されている。これは首長の在任期間の問題と、公共事業に対して「天の声」ともいわれるような、絶大な権限を所有していることが起因していると思うが、市長はどう考えるか。

答弁 合併問題がなければ、3期で一旦自分の首長の部分は閉めたいと思っていた。現在は在任期間を考える余裕も関心もない。与えられた4年間で市民の皆さんと一緒に改革を進め、新しいまちづくりの基礎をつくることしか今は頭にない。

「天の声」というのは県関係になると組織が大きいかからそういったものもあると思うが、地方自治体は住民監視もきつしいし、市民利益に反することはできない。



市議会だより

一般質問

予算編成からの情報公開と市長交際費の公開

大平 敏弘 議員

質問 「広報みとよ」で三豊市の現状を正直に市民にお伝えし、19年度予算を250億円まで切り詰める計画が進行しているが、予算編成を市民に公開し、ご意見をいただくことは考えられないか。また、厳しい予算の協力を得るため、市長交際費を公開すべきと考えるが。

答弁 対応準備ができていない。減額予算は市民の理解と過酷な努力が必要。交際費については今後考えたい。

質問 学童保育は小学校と共に進める時代では。保育の意識から脱却し、小学校で取り組むことはできないか。

答弁 教育課程遂行のため、居残りさせる放課後指導はできるが、日常的は難しい。



寿工芸跡地の商業用地転用について

詫間 政司 議員

質問 寿工芸跡地は、合併前の7町合併協議会で、三豊市発祥の地として本庁舎の位置と定められている。

庁舎の位置は、市条例と地方自治法のいずれにも最初に定められている。このことは、地方自治体にとっての存在の証そのものであることを意味している。

三豊市にとって、本庁舎の位置を変えることとなる「商業用地転用」という最重要問題を、議会で十分な議論と全市民への説明の時間も無く、決定を急ごうとするのは何故か。

答弁 当地は、三豊市の最優良地である。地域経済活性化と、まちづくりの拠点として「大型商業複合施設」の誘致を決定したい。

議会へは庁舎の位置を変える条例改正の理解を求め、市民への説明は不十分であるので、あらゆる広報手段を使い説明していきたい。

農産物のブランド化について

金子 辰男 議員

質問 今、農業が大きく変わるうとしています。利益を上げるためには、どうしなければならぬか。三豊の農産物の個性や良さを消費者に訴える、認知され記憶してもらうため、市としての様に考えていますか。

答弁 三豊ブランドを確立し、三豊市の農業生産品のイメージを高め販売増に結びつけた。フルーツ王国三豊のブランドを確立していくことに、努力を傾注したい。

質問 団塊世代の受け入れについて伺います。

60歳で定年を迎える多くの人達が新しい人生の出発の年になるうとしています。故郷や農村に住みたい願望が多くあるそうです。市の対応をお聞きます。

答弁 現時点では、問い合わせに個別に対応しています。市の活性化や地域づくりのためにも今後検討します。

市税の収入未済額などについて

藤田 芳広 議員

質問 平成17年度決算では3億940万円の市税未済額があり、財源確保の観点からこの減少対策は重要課題と考える。慢性的に滞納となつているのではないか。徴収率アップの為の改善策回収強化策の計画は、延滞の主たる原因は何か。

答弁 滞納は長引く不況の収入減、事業不振、私的債権の優先など、多様化複雑化しており特定しがたい。徴収強化のプロジェクトチーム編成は来年以降に検討。現状三観広域組合、香川滞納整理推進機構と連携しての徴収強化を図っていく。

質問 不能欠損額が2,035万円で地税法による処分は430件もあり、不公平感が拭えないが、徴収権の行使に問題は無いのか。

答弁 市税で不能処理した164件は生活困窮者、また266件を所在不明者として認定しており、やむを得ないものである。

合併、今だからできる行政改革

坂口 晃一 議員

質問 総人件費削減計画と職員人口比1%達成はいつか予算構成比25.7%、人件費役付率26.25%、職員942人、臨時嘱託職員509人は多過ぎです。

答弁 平成18年度より5力年で総人件費削減に関する方針で総人件費を現行の70%に削減、職員数196名減にする。

質問 保育所・幼稚園・小学校の統廃合と耐震計画についての対策案を示せ。

答弁 統廃合は19年度学校幼稚園適正規模検討委員会を設ける。国の小学校の基準は12〜18学級です。三豊市の該当は2校です。

質問 公共施設等の適正配置と管理運営の方針はどうか。

答弁 第3セクター、病院、老健施設に関しては19年度1年間で検討委員会を設置する。他の遊休施設も行政改革の方で検討する。



土曜保育、寿工芸跡地利用
について

瀧本 文子 議員

質問 豊中幼稚園で土曜預り保育の実施を。園児340名と県下一マンモス園のため、副園長を配置すること。

答弁 3歳以上の土曜保育を実施(来年度より)。円滑運営のため副園長を検討する。

質問 寿工芸跡地利用について、十分な住民説明ができていない。民意の合意に至っていない。大型店舗は深夜営業、青少年の影響等環境悪化が懸念される。また、地域の活性化・経済の発展に結びつかないのではないか。地域住民主体の町づくりこそが求められている。

答弁 きびしい財政状況から、新庁舎建設は考えていない。大型店による地元説明会で、生活環境対策について要望していく。大型店進出は、新たな雇用創出になる。新たなチャンスととらえ、挑戦していきたい。

「住民が主人公」で
住民福祉の防波堤へ

岩田 秀樹 議員

質問 累積債務308億円の発生原因を明確にせねば、再発も有り得るのでは。

答弁 税金を上げ、自治体の交付税を減らす、われわれ国に云々でなく地方自治体としてどう対応するかが行政改革の原点。

質問 行革大綱(案)等にてでくる類似団体等はどこを指しているか。無いのではないか。削除すべき。

答弁 類似団体はあくまで参考値、削除しない。類似団体はどういうものか、用語解説で補強し対応する。

質問 土地開発公社は、議事録や決算書類の不存在が情報公開請求の中で明らかになった。資料の無い中で、どこまで債務と欠損金を明らかにできるのか。

答弁 9月実施の特別監査報告書に「正規の手続きが執られていない支出なども、損害と取り扱ふことを考慮すべし」とある。

市を企業的に全面リストラ
するの

三木 秀樹 議員

市長人選の会社役員等が行革推進委員会で「今後5年間は退職者不補充、臨時職員の削減、学校施設関係の統廃合等」と企業的全面リストラの診断。それに従う中期財政計画等に対し、

質問 市長は彼らを今後も市民代表と言いつけるのか。

答弁 市民の代表だ。

質問 当局の試算でも、5年後の人件費比率は、今より悪くなる。職員を5年間も採用しない根拠は何か。

答弁 合併協の決定通り採用すれば、もっと悪化する。

質問 経験と資格が必要な水道局及び永康病院は、5年間退職者不補充で市民の安全・安心は守れるのか。

答弁 危惧している。

質問 歴史的に合併経過のある新庁舎問題を、一時の権力で覆すのはおこりではないか。市民に聞くべきだ。

答弁 議会に諮っている。他に1問質問しました。

「かがわ輝く女性議会」に参加して

山本町 藤川 和子

香川県議会議員会館において「かがわ輝く女性議会」が平成18年11月15日に開催されました。

香川県から46名が、「一日議員」になり、三豊市からも4名が参加しました。

当日は、県議会と同様各委員会に分かれ議論し、まとめて本会議に諮る方式です。

県男女共同参画推進委員をされている私は、総務を選択し総務委員長になりました。委員会では鋭い意見や提言が活発に議論され、県当局の答弁者も大変だったと思います。進行係の私は、予定時間に終

了できるか不安でしたが、無事終えることができました。

本会議では、真鍋知事、筒井県議会議長や各議員が出席され、その中の委員会報告は緊張しましたが、良い思い出になりました。

三豊市での開催をお願いしたところ、横山市長は、「三豊市男女共同参画推進プランを19年度中に策定し、その期間中に『女性議会』の開催を検討したい」ということです。

三豊市の女性の皆様、「女性議会」の中で女性の意見や提言・要望等を市政に反映させませんか。

